

第 2 回 (平成 17 年度) 原子力規格委員会功労賞受賞者の決定について

(社)日本電気協会原子力規格委員会では、委員会活動に貢献顕著な委員等を表彰する功労賞が創設されております。

このたび、5 月 18 日開催の第 20 回原子力規格委員会において、第 2 回 (平成 17 年度) 功労賞の受賞者が下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

(50 音順 敬称略)

氏名	所属	表彰事由
設楽 親	東京電力株式会社	本委員会構造分科会供用期間中検査検討会において、「軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査における超音波探傷試験指針」(J E A G 4 2 0 7 - 2 0 0 4 年版)の改定作業を通して、超音波探傷試験による欠陥サイジング技術の国内初の規格化に、検討会主査として多大な貢献をされ、本委員会の活動に大きく寄与された。
田治見 宏	日本大学 名誉教授	社団法人日本電気協会において 1960 年代より始まった原子力発電所耐震設計技術指針の検討段階から現在の本委員会耐震設計分科会活動に至るまで長年に亘り、耐震設計関係の技術指針の策定・改定にご尽力頂くとともに、これらの作業において指導的立場で多大な貢献をされ本委員会の活動に大きく寄与された。
増田 尚宏	東京電力株式会社	本委員会安全設計分科会計測制御検討会において、「中央制御室の計算機化されたヒューマンマシンインタフェースの開発及び設計に関する指針」(J E A G 4 6 1 7 - 2 0 0 5 年版)の策定作業に、検討会主査として多大な貢献をされ、本委員会の活動に大きく寄与された。
渡邊 邦道	東京電力株式会社	本委員会原子燃料分科会原子燃料検討会において、「発電用原子燃料品質管理指針」(J E A G 4 2 0 4 - 2 0 0 3 年版及び英訳版 - 2 0 0 5 年版)の策定作業に検討会主査として多大な貢献をされ、本委員会の活動に大きく寄与された。

(問い合わせ先)

原子力規格委員会 事務局 (日本電気協会 技術部内)

電話 : (03) 3216-0553

FAX : (03) 3214-6005

E-mail : staf-nuc@denki.or.jp

所在地 : 〒100-0006

東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 4 階